

2025年3月期
第2四半期（中間期）決算
～上期実績と今後の見通しについて～

株式会社ヤクルト本社
代表取締役社長
成田 裕

Yakult

2024年11月12日

2025年3月期 第2四半期（中間期） 連結決算概況



	実績 (うち、為替影響額※)	前年比	予想対比 (2024/5/14発表)
売上高	2,550億円 (+124億円)	100.9%	95.5%
営業利益	337億円 (+26億円)	95.7%	95.1%
経常利益	452億円 (+38億円)	107.2%	100.6%
親会社株主に帰属する 中間純利益	274億円 (+21億円)	105.4%	96.4%

※為替影響額は対前年度実績

2025年3月期 通期業績予想（連結）の見直し



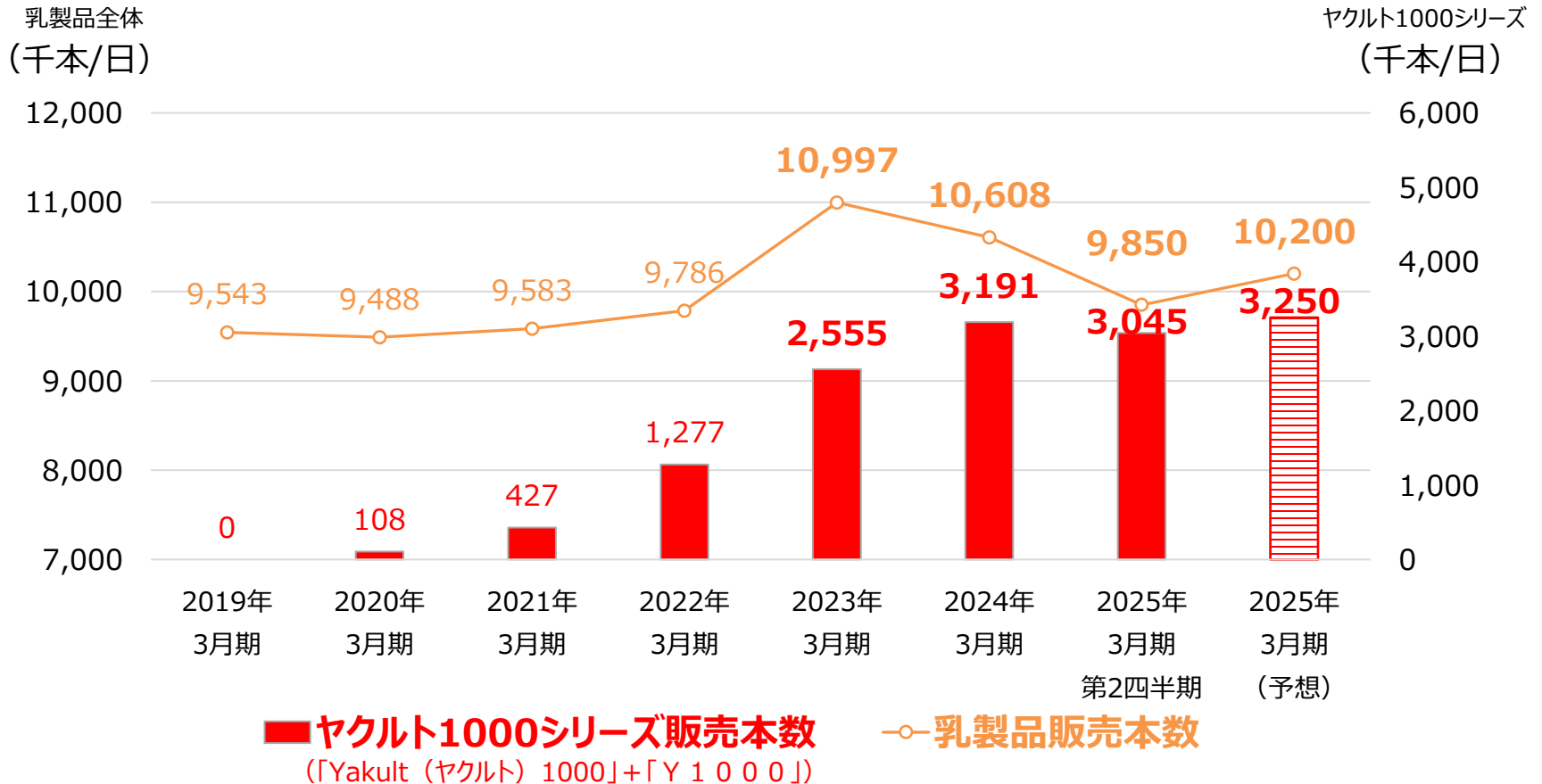
	修正業績予想 (うち、為替影響額※)	当初業績予想 (5/14発表)	当初業績 予想比	前年比
売上高	5,120億円 (▲12億円)	5,335億円	96.0%	101.8%
営業利益	615億円 (▲5億円)	685億円	89.8%	97.0%
経常利益	815億円 (▲10億円)	865億円	94.2%	102.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	520億円 (▲4億円)	555億円	93.7%	101.9%
1株当たり 当期純利益	(円 銭) 171.50	(円 銭) 183.08	93.7%	104.2%

※為替影響額は対当初業績予想

国内飲料食品事業



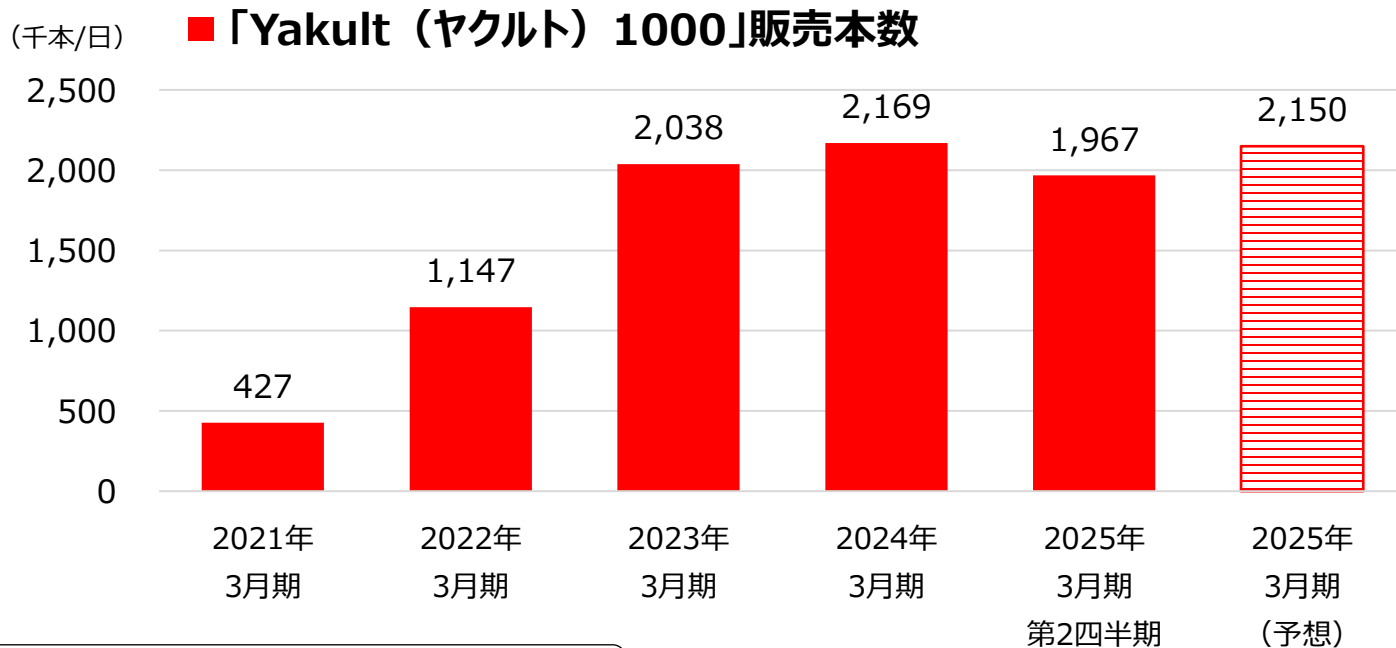
＜乳製品全体・ヤクルト1000シリーズ 販売本数推移＞



これまでの振り返り

- ・ヤクルト1000シリーズの構成比は**約 3 割**となるも、足元の販売本数は横ばいで推移
- ・**ストレス緩和・睡眠サポートの市場は拡大**しており、ポテンシャルがある市場 3

<宅配チャネル>

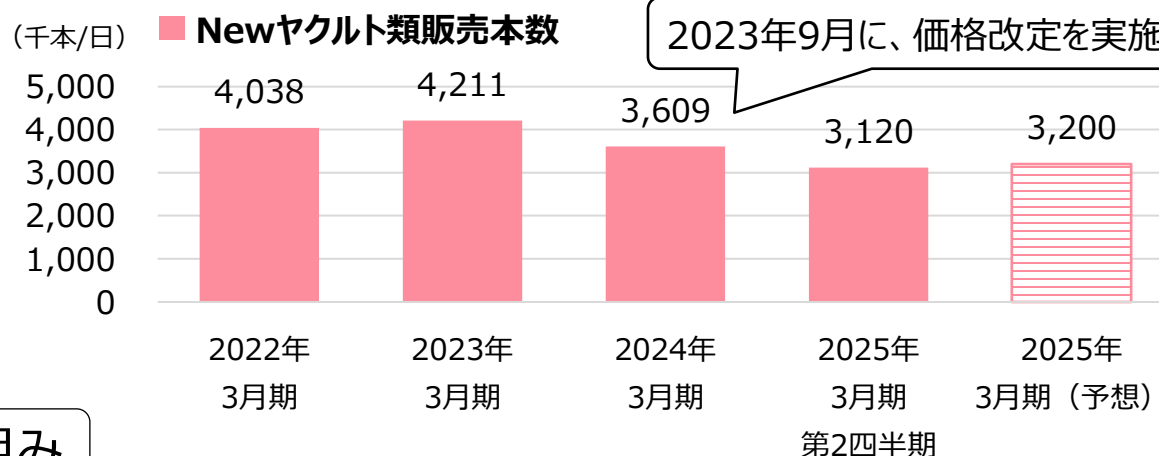
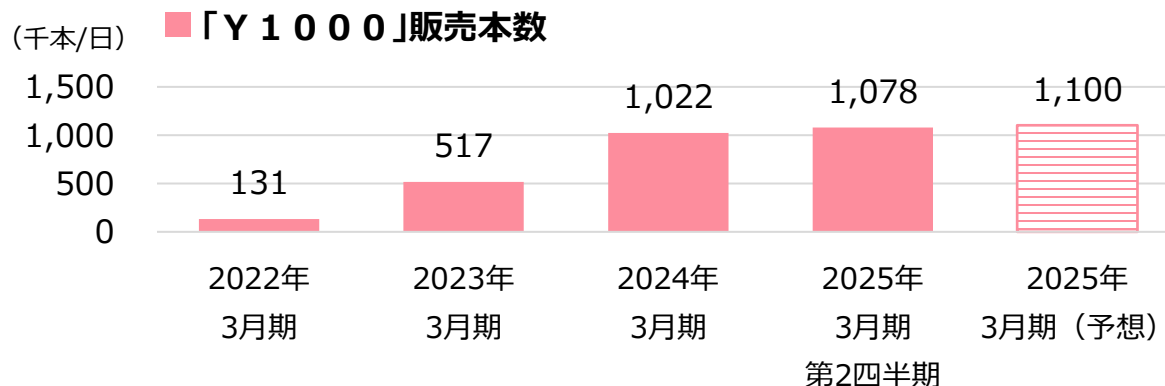


「Yakult（ヤクルト）1000」に対する取り組み

- ・11月から関東1都3県で**「Yakult（ヤクルト）1000 糖質オフ」**を発売
2025年1月から全国で発売
- ・新規のお客さまづくりや**糖質・カロリー・甘さを気にされるお客さま**へのアプローチ



<店頭チャネル>



店頭での取り組み

- ・「Y1000」は、**6本パック**の配荷も進み、店頭での**露出増**
- ・Newヤクルト類は店頭での**効果的な売り場づくりの提案**や**マーケットごとの販売促進活動を強化**し、地道な価値普及活動を継続

植物素材利用食品



<新ブランド「豆乳の力」>



特定保健用食品



「豆乳の力 プレーン」
(110g)



「豆乳の力 ブルーベリー」
(110g)

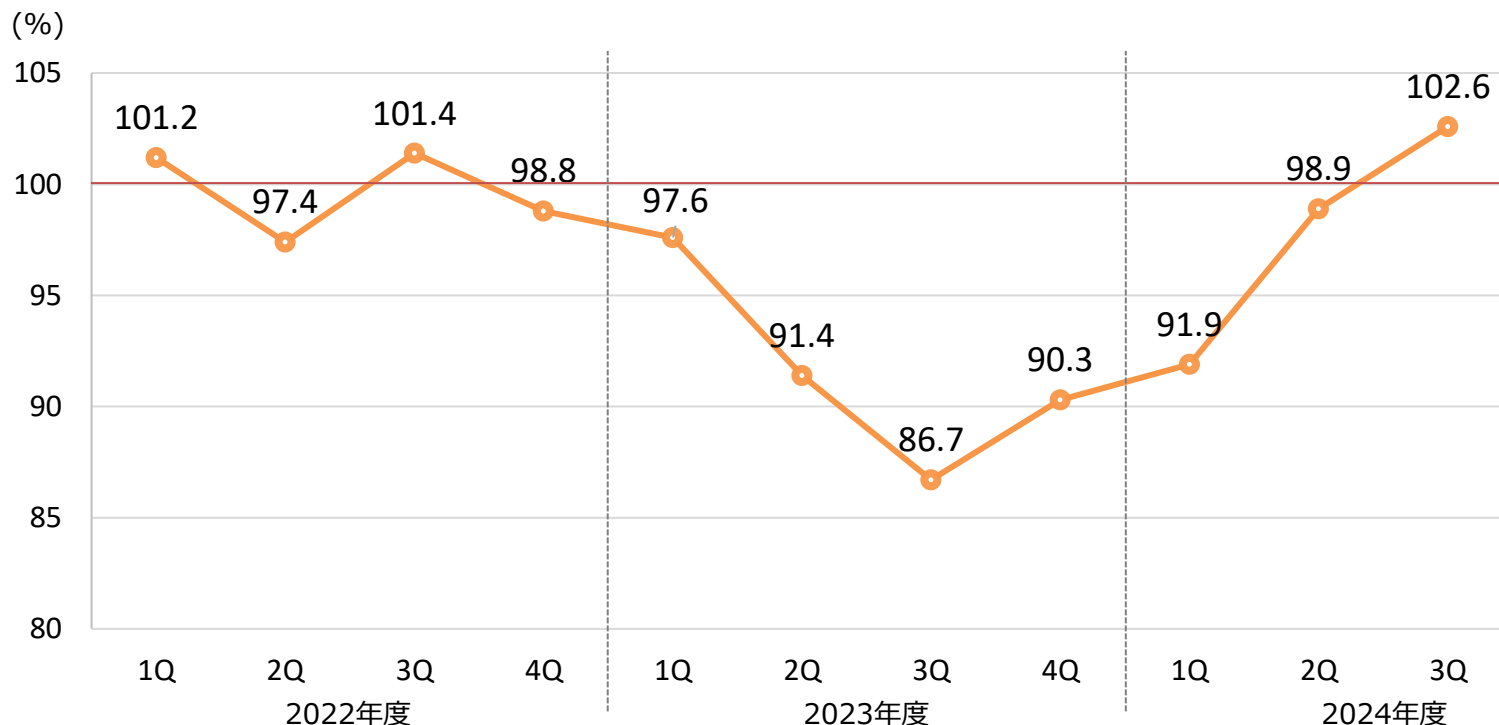


「豆乳の力 プレーン無糖」
(400g)

事業領域の拡大

- ・10月に生産子会社として株式会社**ヤクルトプランツファクトリー**を新たに設立
- ・世界全体で拡大傾向にある**植物素材利用食品市場**へ当社も進出

＜四半期毎の販売本数前年比の推移＞



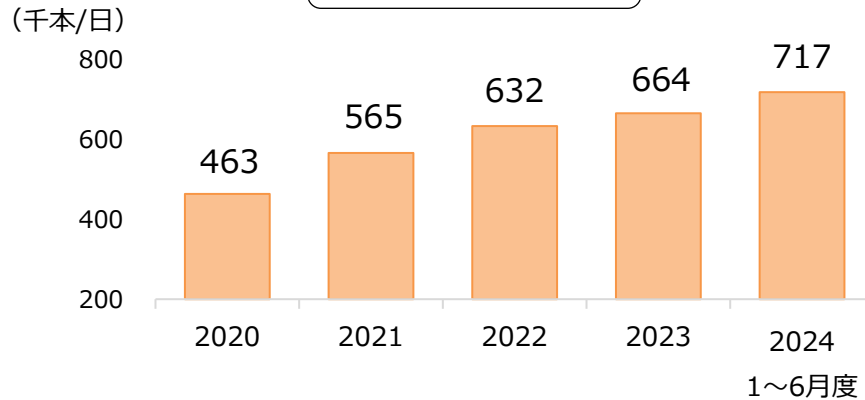
販売本数の状況

- ・2024年度第3四半期（7-9月）の1日あたり販売本数は、前年を**約3%上回り**、**8四半期ぶりに前年同期比プラス**

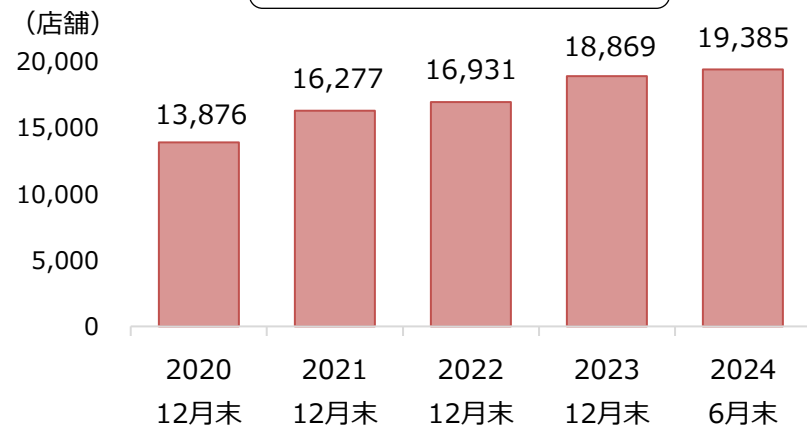
海外飲料食品事業 ～主要事業所の状況（アメリカ）～

Yakult

販売本数



取引店舗数

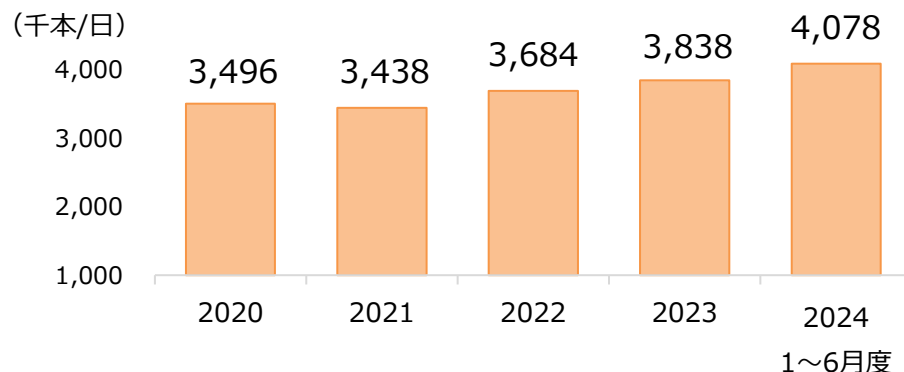


- ・5月に6%を超える**価格改定**を実施。販売本数への大きな影響もなく、**伸長が継続**
- ・2026年9月の生産開始に向けて、ジョージア州に**第2工場建設**を計画

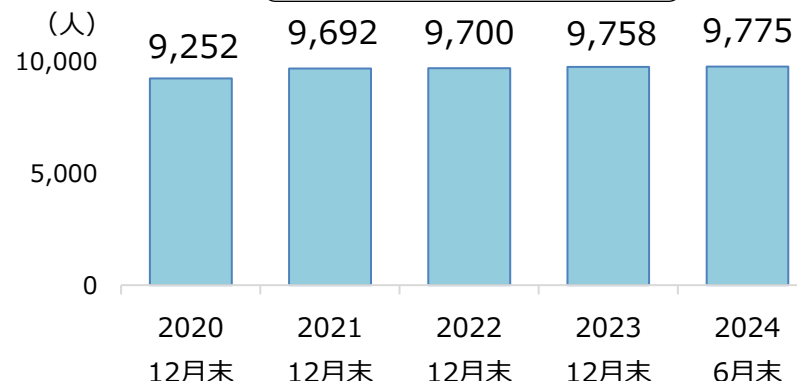
海外飲料食品事業 ～主要事業所の状況（メキシコ）～

Yakult

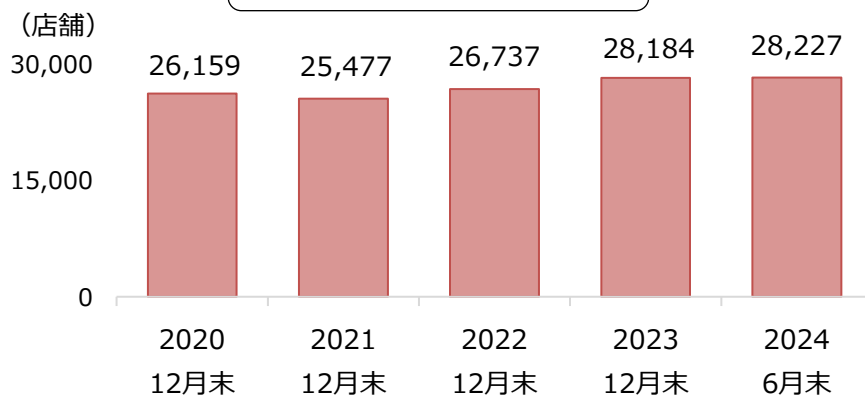
販売本数



ヤクルトレディ数



取引店舗数

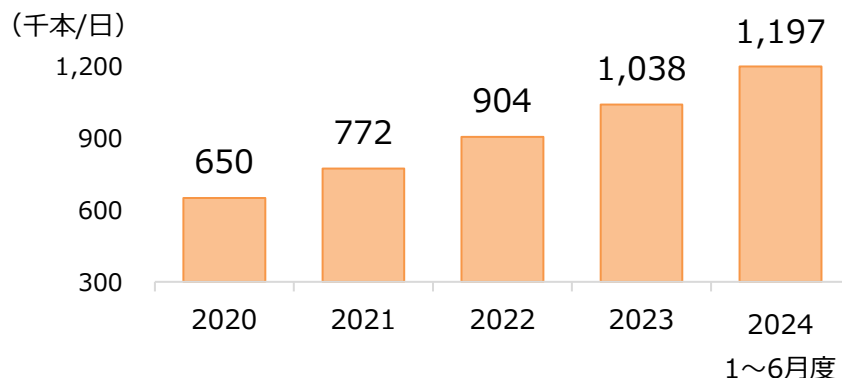


- ・今期の販売本数は、過去最高本数となった**前年を上回るペース**で推移
- ・2月に5%弱の価格改定を実施しており、本数効果と価格改定の両方の効果で**増収増益**を後押し

海外飲料食品事業 ～主要事業所の状況（ベトナム）～

Yakult

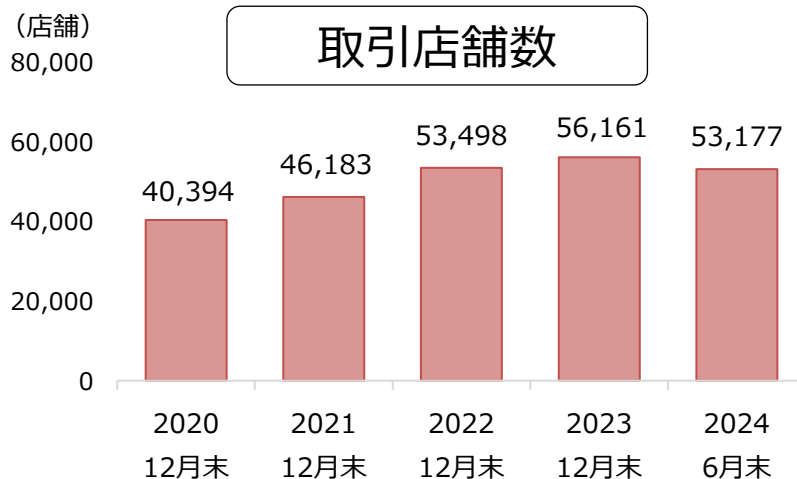
販売本数



ヤクルトレディ数



取引店舗数



「ヤクルトライト」
(2024年4月1日発売)

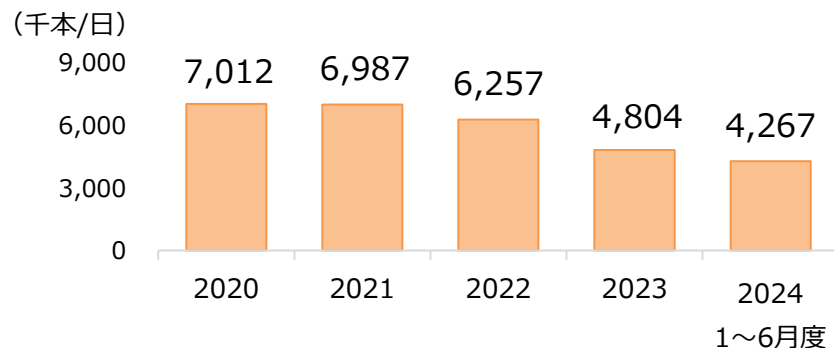
- ・宅配、店頭の両チャネルで**順調に販路が拡大**し、高い伸長率を維持
- ・4月に発売した**「ヤクルトライト」**が**好調に推移**し、販売本数を押し上げた

海外飲料食品事業 ～主要事業所の状況（中国※）～

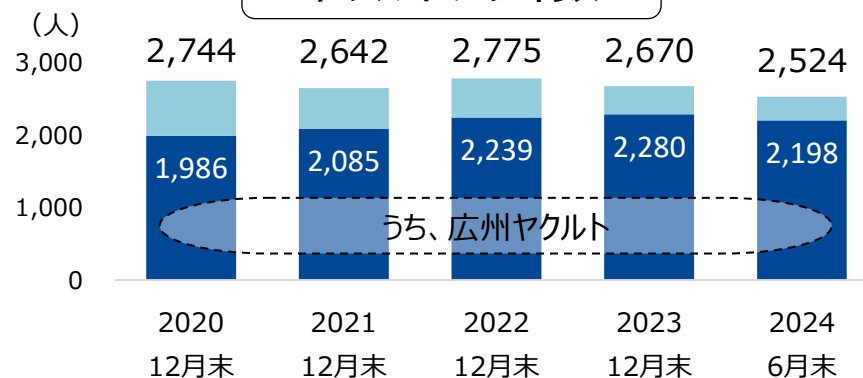
※中国には3つの事業所があります
（広州ヤクルト、上海ヤクルト、
中国ヤクルト）

Yakult

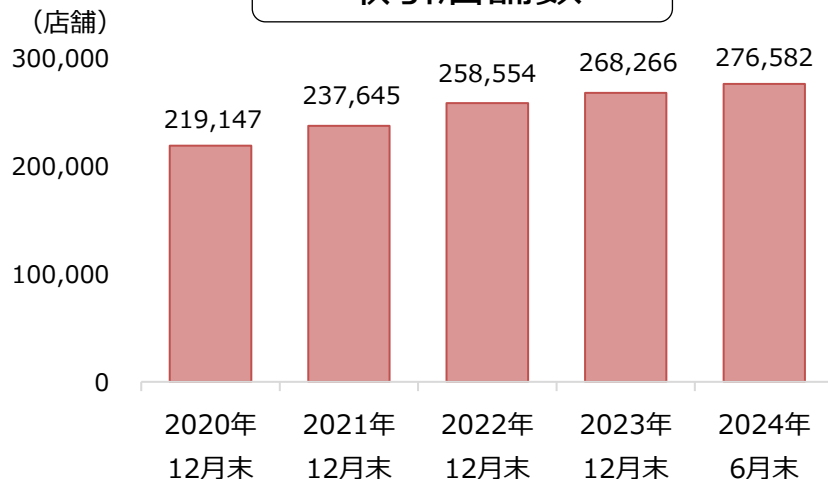
販売本数



ヤクルトレディ数



取引店舗数



新商品展開

- ◆「ヤクルト ピーチ風味（鉄プラス）」を発売（2024年5月）
- ・販売促進活動を一時的に展開した結果、目標を大きく上回る結果で推移
 - ・取引店舗でのヤクルトブランドの存在感も高まる

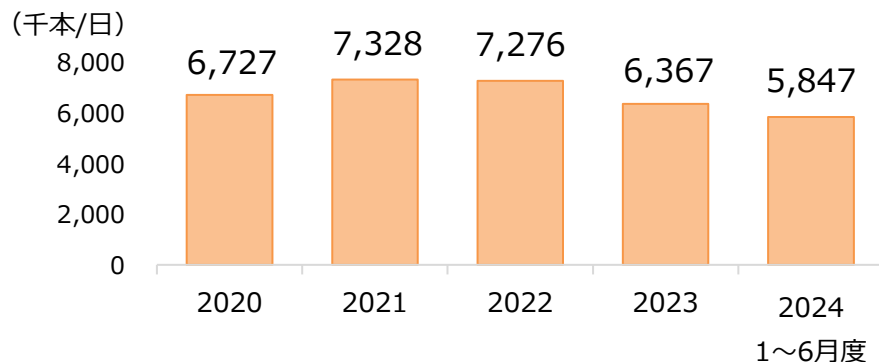


・下期に前年の水準を確実に上回り、**来期以降の伸長**につなげていく

海外飲料食品事業 ～主要事業所の状況（インドネシア）～



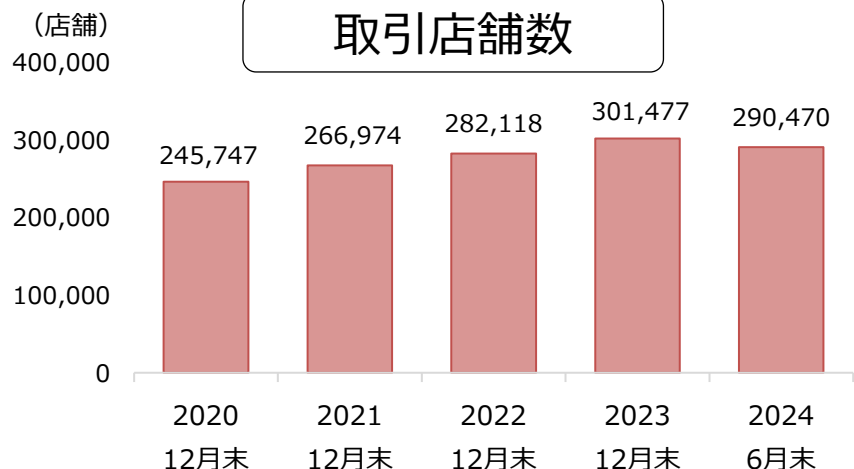
販売本数



ヤクルトレディ数



取引店舗数



ヤクルトレディ組織の再構築

ヤクルトレディの「売る力」は対面教育の再徹底により、コロナ禍前の水準に戻っている

6月以降、減少傾向にあったヤクルトレディ数の回復がみられている



- ・10月から**宅配チャネル**でも「ヤクルトライト」を販売
- ・宅配チャネルが店頭チャネルの減少分をカバーし、**徐々に前年水準に近づけていく**

長期ビジョン「Yakult Group Global Vision 2030」
世界の人々の健康に貢献し続けるヘルスケアカンパニーへの進化

実績
2020

定量目標
2024

定量目標
2030

中期経営計画
(2021-2024)

～変革への挑戦～

中期経営計画
(2025-)

2025年3月期 決算発表時
(2025年5月)
開示予定

当資料に掲載されている過去の事実を除く、計画、予想などは、不確定な要因を含んでいます。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは異なる結果となる場合があることをご承知おきください。

当資料のいかなる情報も投資勧誘を目的としたものではありません。また、弊社は当資料の内容に関し、いかなる保証をするものでもありません。万一、この資料に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いません。